



## インプラントYEARBOOK 2026(インプラテックス抜粋版 /2026.4月発行)無料配布

今春刊行されました別冊ザ・クインテッセンス「インプラントYEARBOOK 2026」の弊社抜粋版を無料配布いたします。ご希望の方は右記QRコードよりお申込みください。ご指定先へお送りいたします。(歯科医院様のみ対象です)  
仕様:変形A4カラー版 16ページ ※配布数量には限りがございます。

資料請求  
フォーム



### セミナー・講演会のご案内

#### 実践的インプラント・歯周治療 ～インプラント・歯周病専門医が考える硬組織・軟組織マネジメント～

東京・静岡



白鳥 清人 先生  
医療法人社団白鳥歯科/静岡県  
インプラント



雨宮 啓 先生  
藤沢歯科/神奈川県  
インプラント・ペリオ



新谷 武史 先生  
しんがい歯科医院/群馬県  
エンド



井原 雄一郎 先生  
井原歯科クリニック/東京都  
インプラント・ペリオ

2026年度スワンズ東京主催の本コースは、実習およびライブオペを取り入れた全6日間のロングセミナーです。インプラント治療はもちろん、歯周治療・歯内療法などを各分野の専門講師から包括的に学んでいただける内容となっております。毎回満席となる人気のコースです。お早めのお申込みをお待ちしております。

#### スワンズ東京 2026 年度 6 日間コース / 定員16 名

第1回: 7月25日(土)-26日(日)  
第2回: 8月29日(土)-30日(日)  
第3回: 9月26日(土)-27日(日)

主催:スワンズ東京



会場:【第1・2回】インプラテックス 本社研修室  
東京都荒川区西日暮里2-33-19 YDM 日暮里ビル  
【第3回】医療法人社団 白鳥歯科  
静岡県駿東郡清水町堂庭195-7



詳細および  
オンライン申込は  
こちらから

参加費:550,000円(税込・器材費・※含む)

※各回2日目昼食代、初日ウェルカムパーティー費、白鳥歯科ガーデンパーティー費他含む  
◆お申込みの際は、お申込み後1週間以内に申込金50,000円をご入金いただきます。

#### Microsurgery & Piezo オステオトームテクニック Transcrestal membrane elevation technique

東京



千 栄寿 先生  
せん歯科医院/神奈川県

講師:千 栄寿 先生

上顎洞底挙上術には、側方開窓テクニックと歯槽頂テクニックの2つの大きく異なるアプローチがあります。本セミナーでは、歯槽頂テクニックであるオステオトームテクニックを改良した手術方法に照準を絞って先生方に会得していただきます。

【注】本セミナーは、ピエゾサージェリーと専用器材を用いた「センオステオトーム法によるサイナスリフト」を目的としたアドバンスコースです。実習ではミラーテクニックを駆使するため、一定のご経験をお持ちの先生を対象しております。

必ずお持ちいただく物:拡大鏡(5倍以上/ルーペ) 貸出品はありません。

日時:2026年8月2日(日)10:00~17:00

会場:東京(インプラテックス本社研修室)

受講費:80,000円(センオステオトームセット・昼食・税込)

▶☑メールニュース優待で75,000円(昼食・税込)

定員:9名



受講費には上記のセンオステオトームセット(3.5・4.2)が含まれます。



オンライン申込は  
こちらから

#### 「ソーセージテクニック」ハンズオンコース(臼歯部編) 最先端の水平的骨増大術 実習セミナー

東京



多保 学 先生  
たぼ歯科医院/埼玉県



講師:多保 学 先生・松田 博之 先生

「ソーセージテクニック」は自家骨と他種骨ならびにコラーゲンメンブレンを使用した歯槽提増大術です。今回得られる知識と技術を患者さんに還元し、より日常臨床での選択肢の幅を広げていただければ幸いです。なお、本コースは、ソーセージテクニック開発者のDr.Istvan Urbanから快諾を得ているコースとなります。

日時:2026年10月11日(日)9:30~17:00

会場:東京(インプラテックス本社研修室)

受講費:65,000円(昼食・税込)

▶☑メールニュース優待で60,000円(昼食・税込)

定員:11名



オンライン申込は  
こちらから

上記セミナーの掲載内容に変更となる場合もございます。予めご了承くださいませ。弊社主催セミナーは来年初より弊社WEBサイトにてご案内予定です。弊社メールニュースにご登録いただくと、セミナーの内容・スケジュール等が決定次第、いち早くご案内しております。ぜひご利用ください。



#### メールニュース配信登録でセミナー・講演会をご優待

弊社メールニュースでは、弊社主催のセミナー・講演会の受講費がおトクになるご優待案内、セミナー情報の他、新商品情報、特価品情報、オペ見案内情報等を配信いたします。これから受講お申込みをされる方、ご検討中の方もぜひご登録ください。

メールニュース配信登録は  
QRコードから登録フォーム  
に入ってください。▶



本紙に掲載している商品の表記価格はすべて消費税別です。※商品の規格・仕様・価格等は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

掲載情報・商品・サービスおよびニュースレターに関するお問合せは



〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-33-19 YDM日暮里ビル  
TEL.03-5850-8555 FAX.03-5850-8505 www.itx.co.jp  
お電話でのお問合せ、ご注文は土・日・祝祭日を除く9:00~17:00にお願いいたします。  
15時までのご注文で在庫のある商品につきましては当日出荷いたします。

- 歯科器具
- インプラント材料
- セミナー

インプラテックス

検索



itx\_newsletter2026.06

※宛先の情報に変更・誤り等ございましたら、お手数ですが本用紙にてご修正の上、FAXにてご返送ください。



インプラテックスニュースレター 2026 年 Vol.1 春号

インプラテックス ニュースレター

2026年 Vol.1

WEB版:www.itx.co.jp/dental/itxnewsletter/



WEB版

発行者:  
株式会社インプラテックス  
〒116-0013  
東京都荒川区西日暮里2-33-19YDM日暮里ビル  
電話:03-5850-8555 FAX:03-5850-8505

### お知らせ



紙面  
から  
WEBへ

## 弊社カタログのWEB化移行のご案内

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では、環境負荷軽減に向けたペーパーレス化の推進、および最新の製品情報をより迅速にお届けすることを目的として、「インプラテックス歯科総合カタログ」は今回、弊社WEBサイトへのPDF掲載によるデジタルカタログへと移行させていただきます。

今後は弊社WEBサイトの下記URL(またはQRコード)より、最新のカタログをいつでもどこからでもご覧いただけます。ぜひブックマーク等にご登録いただき、ご活用いただけますと幸いです。弊社WEBサイトの右上にございます検索窓に「カタログ」とご入力いただきましても該当ページが表示されます。

閲覧URL:<https://www.itx.co.jp/product/detail.php?id=4734>

今後とも弊社製品をご愛顧くださいますようお願い申し上げます。



QRコードから  
弊社WEBサイト  
をご覧ください

### メールアドレス未登録の先生へ「ご登録のお願い」

弊社ではお客様サービス向上の一環として、お客様のメールアドレスのご登録を進めております。既にご登録いただいた医院様宛には、先生方のお役に立つセミナー情報、新商品情報などを配信しております。特に、弊社主催のセミナー情報をいち早くご案内するとともに、優待価格で受講いただける「優待コード」を掲載したメールを配信しており、大変ご好評をいただいております。人気セミナーへのご参加お申込みには、弊社メールニュースの配信ご登録をお勧めいたします。

また、弊社取扱いのインプラント製品、ピエゾサージェリー®製品をお使いの先生方には、当該製品に関するお知らせ、限定商品のご案内もしております。ぜひ、この機会にメールアドレスをご登録いただきますようお願い申し上げます。

なお、メールの配信にあたりましては、情報漏えい等事故の無いように専用ソフトを導入し、細心の注意を払って実施しております。もちろん、いつでも配信停止を承っております。なお、ご登録には下欄にメールアドレスをご記入いただき、そのままFAXにてご送信ください。

スマートフォンでは右下のQRコードから登録フォームをご利用いただけます。

まだご登録がお済でない先生は、弊社メールニュースにご登録いただき、ご活用いただけましたら幸いです。

☐ メールアドレスを登録する (メールニュース受信を希望する): メールアドレスを下記にご記入のうえ、FAXにてご送信ください。

☐ メールアドレス登録したがメールが来ない: メールアドレスをご記入のうえ FAX 送信ください。弊社にて確認いたします。

☐ 登録したメールアドレスを変更する: メールアドレスをご記入のうえ FAX 送信ください。弊社にて確認のうえ変更いたします。

メールアドレス:

ハイフオンアンダーバー アイ エル オー ゼロ  
※楷書でご記入ください。ーとゝ、iとl、oと0など区別しにくい文字にはフリガナをお願いいたします。

※下記の QR コードからスマートフォンなどでもご登録いただけます。

※弊社メールニュースは歯科医院様向けのサービスとなります。

FAX送信先  
24時間受付

03-5850-8505  
(インプラテックス本社)

スマホから  
メールニュースの  
ご登録はこちらから



拡大視野下におけるPiezosurgeryとSen Ostmを用いた精密外科治療  
—・Microscopic Transcrestal BAOSFE—



神奈川県横須賀市  
せん歯科医院 千 栄寿

【はじめに】

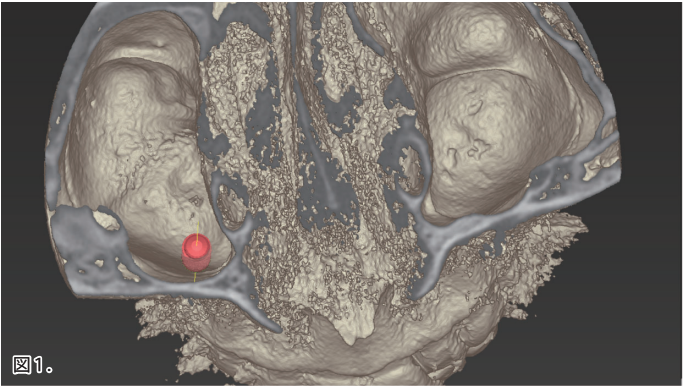
1986年, Tatumは側方開窓術よりも低侵襲の方法を提案する為にtranscrestal approach(歯槽頂アプローチ)をはじめて記述した. Tatumのテクニックでは, 骨密度の高い患者の手順においてサージカルバーで洞底部まで骨のインスツルメンテーションを行う. その後, 1994年にSummers RB がTatumの方法をより改良してサージカルバーを用いない上顎洞底部の挙上方法としてオリジナルのosteotome kitを使用したSummers osteotome sinus floor elevation(OSFE)を詳述し, 一連のtranscrestal approach【ridge expansion osteotomy: REO, OSFE, bone added osteotome sinus floor elevation: BAOSFE, future site development: FSD】を提案した. transcrestal approach(歯槽頂アプローチ)が考案されて現在に至るまでの変遷を振り返ってみると, 洞粘膜の損傷や洞底部の不整骨折等に関連した偶発症を減らす為に多くの外科を担当した先生方が様々な改良を加えている事が伺える. 本稿においても, 筆者なりに安全性や成功率を向上させる為に手術用顕微鏡を導入した2005年当初から考案し, 改良を重ねている臨床例をご紹介します.

【本法の適応症例】

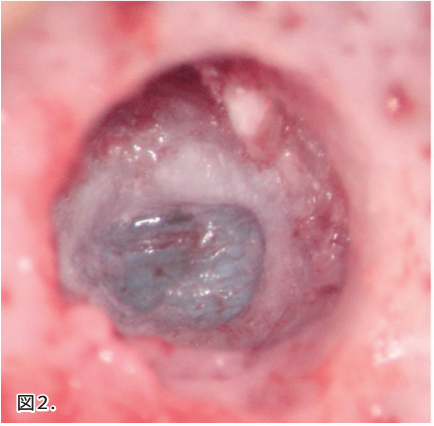
上顎洞下の既存骨高径が5～7 mm以上必要, 同時法か段階法かの選択基準は, 増生前における既存骨の垂直的な距離のみで判断しない方がよい. 個々の症例に対する骨量および骨質の評価, つまり十分なインプラントの初期固定を獲得できる可能性に基づいて, 同時法か段階法かを決定すべきであり(Jensen, 2009)総合的判断が求められる.

(総合的判断をするための10条件)

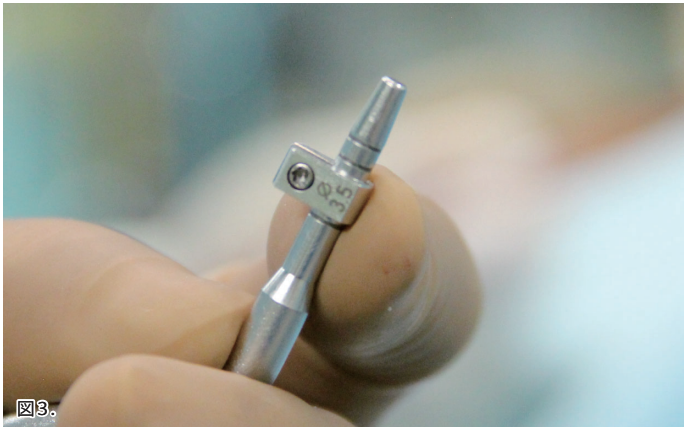
- ①骨量および骨質
- ②解剖学的な洞底部の状況(セプタは禁忌)
- ③インプラント埋入本数
- ④三次元的顎間関係(垂直的と水平的)
- ⑤咬合
- ⑥補綴設計による制限
- ⑦インプラントの表面構造とフォーム
- ⑧臨床的な診断力, 術者の技術と経験値の問題
- ⑨ 5 倍(6 倍以上推奨)の拡大視野下で手術可能なこと
- ⑩ミラーテクニックを実施できること



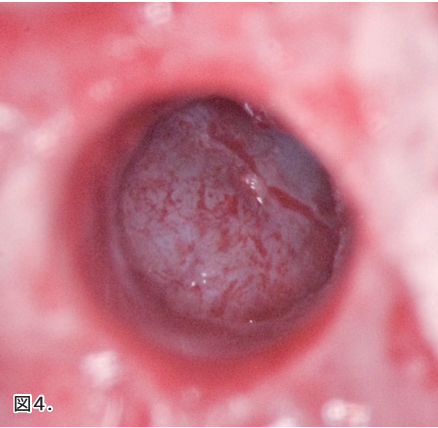
三次元的診査のためにはCBCT検査が必須である. 予定のサイズのインプラントを画面上にてシミュレーションする(図1.). また, レンダリング画像にて, 洞底部の隆起や隔壁の有無を診断する. 隔壁が存在する場合は非適用である.



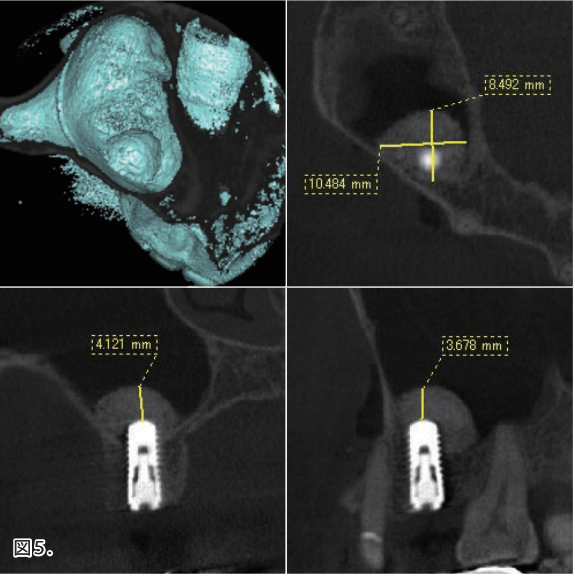
インプラント床を洞底部の間の皮質骨を超音波チップで粉碎していく. 洞粘膜を傷つけないように注意し, 視野を拡大しながら施術する. 十分な生理食塩水を使用して収れん作用を期待する. 間欠的に細かいノズルサクションを用いて目視で慎重に水分を吸引しつつ, 洞底部粘膜(図2.)を観察しながら処置を進める.



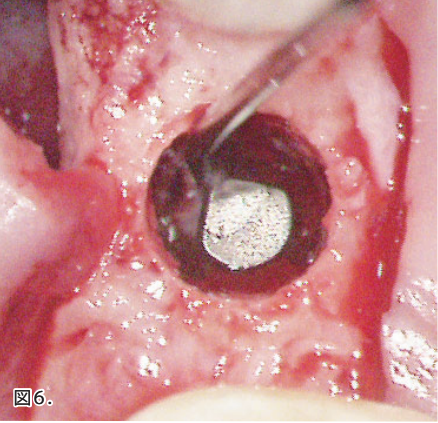
十分な浸潤麻酔をする. 可能であれば麻酔薬は血管収縮剤を含有しているものを使用する. ドリリングは最終の直径まで行わず, 状況に応じてストッパー付きオステオトーム(図3.)を用いてボーンコンデンスしながらインプラント床を形成する. インプラント床の内壁に圧迫を加えることによって, 初期固定と止血効果が期待できる.



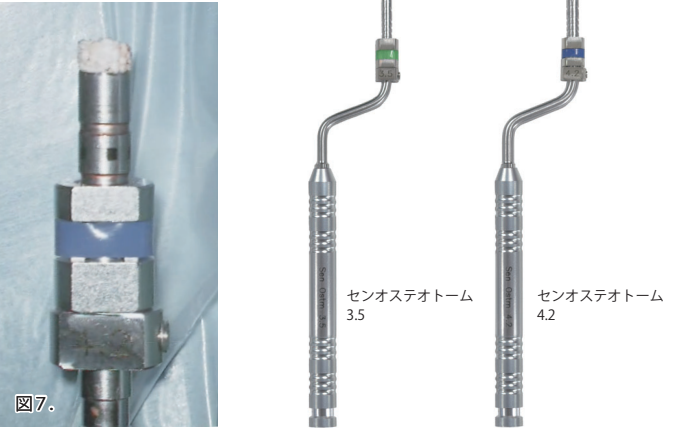
洞底部の骨の粉碎が完了した. 洞粘膜の穿孔はない. 鼻呼吸と連動した粘膜の動きが確認できる(図4.).



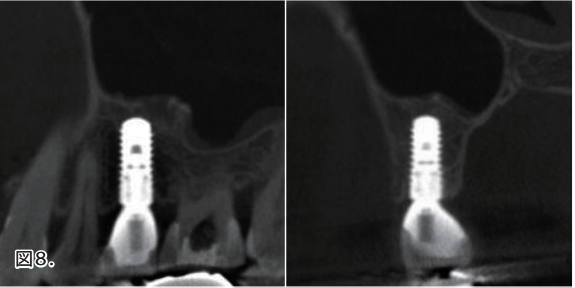
術直後のレンダリング画像およびCBCT画像(図5.). 洞底部が規則正しいドーム状であるため, 洞粘膜の穿孔はないと診断した.



マイクロサイナスエレベーターを円周に沿って洞底部粘膜と洞底部骨の間に挿入する. 均等に骨補填材が入ってゆく空間を形成する(図6.). 同時に洞粘膜の性状を判断する. 穿孔の可能性があるため, 極力洞粘膜を上方に押し上げないようにする. マイクロサイナスエレベーターは先端の向きが4方向で, 隣在歯が存在する際やサージカルガイドのスリーブ越しでも操作できるよう, ロングシャンクになっている. さらに, 拡大下の視野を妨げず, 洞粘膜を愛護的に扱えるようにシャンクに弾力性があり細くなっている.



SenOstm(図7.)を用いての先端の皿状の部分に生理食塩水を含んだ骨補填材を乗せ, 細いサクションで水分のみを吸引する. 濡れていたほうが賦形性にすぐれているためSenOstmに乗せやすいが, 水分を含んでいないほうがインプラント床に挿入して洞底部を越えたところに骨補填材を設置しやすい.



術後18ヵ月のCBCT像(図8.). 骨補填材は吸収・置換が進んでいる模様. 完全に置換された後は, 何年経過しても増生骨量に変化は起こらない.



掲載製品の詳細は株式会社インプラテックスまでお問合せください.